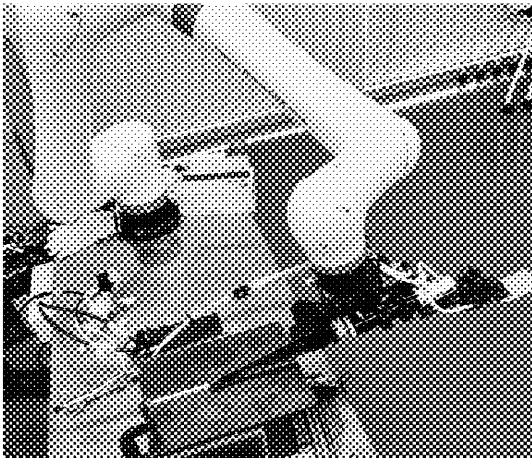


フジ矢、FA装置外販

ベトナムに製造拠点 中小に照準 低価格

【東大阪】フジ矢（大阪府東大阪市、野崎恭伸社長）は、中小製造業向けに工場自動化（FA）装置の外販事業を12月にも始める。ベトナムに製造拠点を設置。研磨やバリ取り、切削加工などに特化したロボットによるFAシステムを製造・販売する。ロボット1台と制御盤、送り機などを合わせ600万～800万円での提供を見込む。投資額は25万ドル（約3650万円）。FA事業で年間売上高1億円を目指す。



フジ矢は10月にベトナムに子会社を設立する。建物は1階建てで建物面積は500平方メートル。ホーチミンから自

地を借り、国内で販売を構築し、国内で販売

を構築し、国内で販売

を構築し、国内で販売

FAシステムを構成する研磨ロボット（フジ矢提供）

FAシステムを構成する研磨ロボット（フジ矢提供）

FAシステムを構成する研磨ロボット（フジ矢提供）

FAシステムを構成する研磨ロボット（フジ矢提供）

システムに組み込み販売する。すでに溶接ロボットは世の中に多く出回っているが、溶接前後の研磨の工程は人での作業だった。

フジ矢は金属加工での作業工具の製造を手がける。工具の製造に携わる中で、研磨やバリ取りなどに強みを持ち、自社の工場でのロボット化を進めてきた。こうしたノウハウを生かし、外販事業を推進する。

さらに協働ロボットを使った自動研磨システムを開発。自動での研磨と溶接スパッタ落としが可能となり、溶接前後の工程を自動化し省人化できる。同ロボットもFA装置のシ

システムインテグレーター（Sier）大手が提供するFAシステムの導入費用は1000万円以上と高価。フジ矢は販売価格を抑え中小に提供することで、人材不足に苦しむ中小の生産性向上に貢献する。